

【オープンキャンパス報告】

2024 年度 オープンキャンパス報告

2024年7月13日(土)と8月10日(土)に開催されたオープンキャンパスには、奈良支部より7名参加し、実験室体験を担当し、高校生や保護者に対して説明を行いました。

今年度は大きく2つの班に分かれ、装置、業務内容を説明しました。

1. 診療放射線技師のミリヨク、マンモグラフィ、一般撮影、CT、透視



上田幸弘(短15回生)

当班はマンモグラフィで乳がんや検査の説明と実機の見学、一般撮影・CT・透視では実機の見学と実際に撮影するところを見ていただきました。

一般撮影ではメロディーが流れる「くまのプーさん」のぬいぐるみを撮影する斬新な試みが行われました。

中身が電子機器のため、可愛らしい外見とのギャップに高校生・保護者の皆様もかなり驚かれています。

私は「技師のミリヨク」のプレゼンを担当しました。各モダリティの説明とは違い、何を言えば高校生や保護者の皆様の心に響くのかを悩みましたが、チーム医療の一員として患者様の治療に携わっていることにより「やりがい」や「達成感」を感じることが技師の魅力と考えお話をさせていただきました。

母校を卒業して約18年経ちましたが目を輝かせる高校生の姿を見て、私も技師を志した若かりし頃を思い出しました。これからも初心を忘れず精進していきたいと考えております。

今回、貴重な機会をいただいた大学の先生方や学友会の皆様に感謝申し上げます。

2. MRI、ポータブル



戸川翔太(大5回生)

当班はMRIとポータブル装置について説明しました。

まず、MRIがどのような機械なのかスライドを使って仕組みを説明しました。スライドでは実際に野菜を撮像した画像を表示し、それが何の野菜なのかクイズ形式で見ていただきました。

野菜の次は頭部、MRA、MRCPなど実際に人体を撮像した画像を表示し、人体がどのように写るのかどのような画像があるのか様々な種類の画像を見ていただきました。そして、MRIの画像には複数の種類があり、全ての画像を総合的に評価し診断に結びつけることを分かっていたいただきました。

スライド説明後は紐で結んだクリップを実際に引っ張っていただき、どれくらい磁場が強いのかを体験していただきました。また、撮像中にどれくらいの音量でどのような音が鳴るのかシーケンスを開始して音を聞いていただきました。

MRIの説明を終え、ポータブル装置の特徴や院内でどのように使われるのか説明をし、触っていただきました。

最後は救急外来でのポータブル撮影という設定で、診療放射線技師が医師や看護師とどのように協力して撮影をしているのか寸劇を行い、リアルな現場の雰囲気を感じていただきました。

今回、大学を卒業してからこんな風にお手伝いができる日がくるとは思いませんでしたが、少しでもお役に立てたことはとても嬉しく思っています。また機会がありましたら、大学に遊びに行こうと思います。ありがとうございました。

参加者の人数について、7月13日は37組69名、8月10日は65組108名でした。

高校生からのアンケートでは、「説明が分かりやすかったです。楽しく参加できました!」「病院で取り扱う機械を近くで見ることができたので、技師の具体的な仕事についてよく知ることができた。」「放射線技師について、しっかりと理解することが出来てとても良かった。」との感想をいただきました。

奈良支部スタッフ:錦 成郎(会長 54回生)、黒田大悟(副会長 短3回生)、待鳥尚子(支部長 短6回生)、前原健吾(短13回生)、上田幸弘(短15回生)、西久保 直嗣(短15回生)、戸川翔太(大5回生)



以上